

第361回研究報告会「諸井慶徳の宗教論—教義学との関連をめぐって—」(9月27日)

久保 大生 (東北大学大学院)

本報告は、諸井慶徳(1915～1961)の宗教論を、教義学的な視点、宗教学的な視点、さらに諸井自身の信仰観の3つの視点を重ね合わせることで読み解いていこうとするものである。

諸井にとって、お道とは「人間完成の道」である。それは、お道において、人間が親神様の心尽くしたうえでの存在であり、人間存在の根拠が与えられ、その生命の意義としての「陽気ぐらし」が教えられたからであるという。こうした理解は、宗教が人生の最も根本的な基盤を成すという、彼の理解に重なる。

同時に、この理解の上に、諸井は宗教哲学的な場において、Urgrundとしての根源存在と、信においてある人間という論が展開していくと考えられる。

諸井の論は、天理教の信仰を基盤にしており、それは、天理教という特殊の中に、世界すなわち普遍の真理が存在するという理解の上に成り立っていると言うことができる。

発表後の質疑応答において、諸井の論を今、再読していく上での大事な視点、また、今後、どのような論点を整理していくべきかの意見を、多数いただいた。



トルコでの国際ワークショップに参加(10月4日)

澤井 真

国際ワークショップ「スーフィー思想と実践—過去から現在へ—」が、トルコの首都イスタンブールにあるウスキュダル大学を会場に開催された。開会冒頭では、ウスキュダル大学長が開催の辞を述べるとともに、記念撮影などが行われた。

本ワークショップは、研究プロジェクト「イスラーム神秘主義と宗教的・政治的権威に関する総合的研究」(科学研究費補助金(B)、代表:澤井真)の一環で行われたものである。ワークショップでは、ウスキュダル大学スーフィー研究所に在籍する3人のトルコ人研究者と、プロジェクトに関わる3人の日本人研究者から1名ずつ、各セッションの発表者として発表し討議を行った。

合計3セッションで開催されたが、筆者は第1パネルで「スーフィズム—霊の世界への指導性」(Sufism: Leadership to the Spiritual World)と題した発表を行うとともに、第2パネルの司会を務めた。なお発表では、イスラーム神秘主義が登場する経緯として、担い手であるスーフィーらが預言者との繋がりのなかでいかに自らの思想的立場を確保していったかについて考察した。

なお、ワークショップはYouTube上でも同時配信されたが、ウスキュダル大学の動画チャンネルで視聴可能である。

2023年度公開教学講座のご案内

— 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ(9) —

2023年度の公開教学講座は、以下の日程でオンライン配信いたします。

- 第1回 6月 井上昭洋所長
167話「人救けたら」
- 第2回 7月 尾上貴行研究員
168話「船遊び」
- 第3回 9月 金子昭研究員
122話「理さえあるならば」
- 第4回 10月 澤井治郎研究員
146話「御苦労さん」
- 第5回 11月 島田勝巳研究員
165話「高う買うて」
- 第6回 1月 堀内みどり主任
113話「子守歌」

2022年度「教学と現代」

3月25日に開催された2022年度「教学と現代」『『元の理』を描く—生命・ジェンダー・芸術—』をオンラインで配信しています。

研究所ホームページよりご視聴ください。

グローバル天理

第24巻 第12号 (通巻288号)

2023年(令和5年)12月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 井上昭洋

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan